

目次

1	簡単監視 WEB カメラ (WIN32API 版) Ver 4.0.....	2
1-1	USB カメラシステム構成.....	2
1-2	USB カメラシステム構成図.....	2
1-2-1	VBNETDEF : デレクトリの作成	2
1-2-2	VBNETCAP : 映像取り込み.....	3
1-2-3	VBNETDSP : 6 台分の U S B カメラの映像の表示.....	3
1-2-4	VBNETEDT : 蓄積した映像ファイルの編集換処理	4
1-2-5	VBNETTST : 3 0 台分のカメラ映像書き込み処理.....	4
1-2-6	VBNETCTL : 3 0 台分のカメラ映像表示の起動管理処理	5
2	USB カメラシステム設定方法	6
2-1	USB カメラの接続状態を確認	6
2-2	USB カメラ 1 台のみ表示を行う場合.....	6
2-3	USB カメラ 1 台で表示と録画を行う場合.....	7
2-4	USB カメラ複数台で表示と録画を行う場合	8
2-5	USB カメラ 3 0 台で表示と録画を行う場合	9

1 簡単監視 WEB カメラ (WIN32API 版) Ver 4.0

USB 監視カメラ(LAN版) はファイル共有デレクトリにより複数のパソコンから抽出したUSBカメラの映像を一括管理するシステムです。

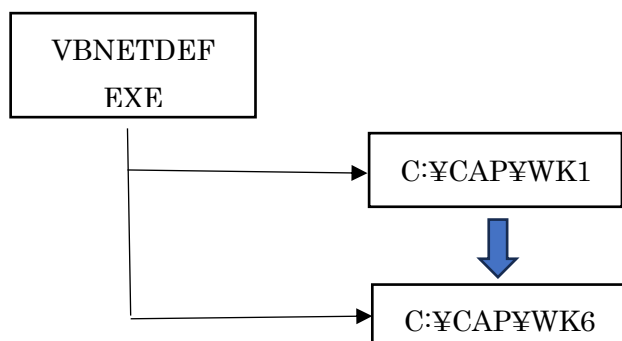
1-1 USB カメラシステム構成

- ① VBNETDEF: USBカメラの使用デレクトリの作成と変更
- ② VBNETCAP: 1 台の USB カメラの映像取り込みと表示及び書き込み処理
- ③ VBNETDSP: 6 台分のUSBカメラの映像の表示と映像の蓄積処理
- ④ VBNETEDT: 蓄積した映像ファイルの編集とAVIファイルへの変換処理
- ⑤ VBNETTST: 30 台分のカメラ映像書き込み処理
- ⑥ VBNETCTL: 30 台分のカメラ映像表示の起動管理処理

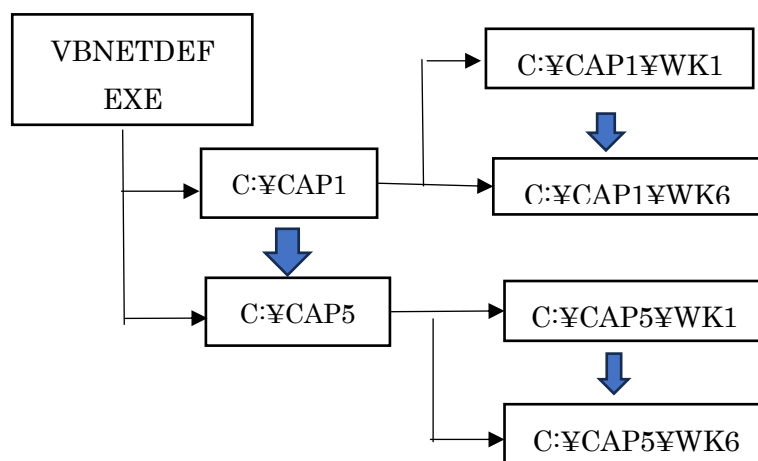
1-2 USB カメラシステム構成図

1-2-1 VBNETDEF: デレクトリの作成

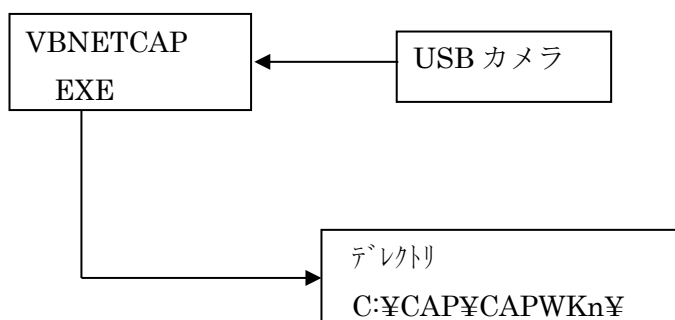
・ 6 台カメラの表示場合



・ 30 台カメラ表示の場合



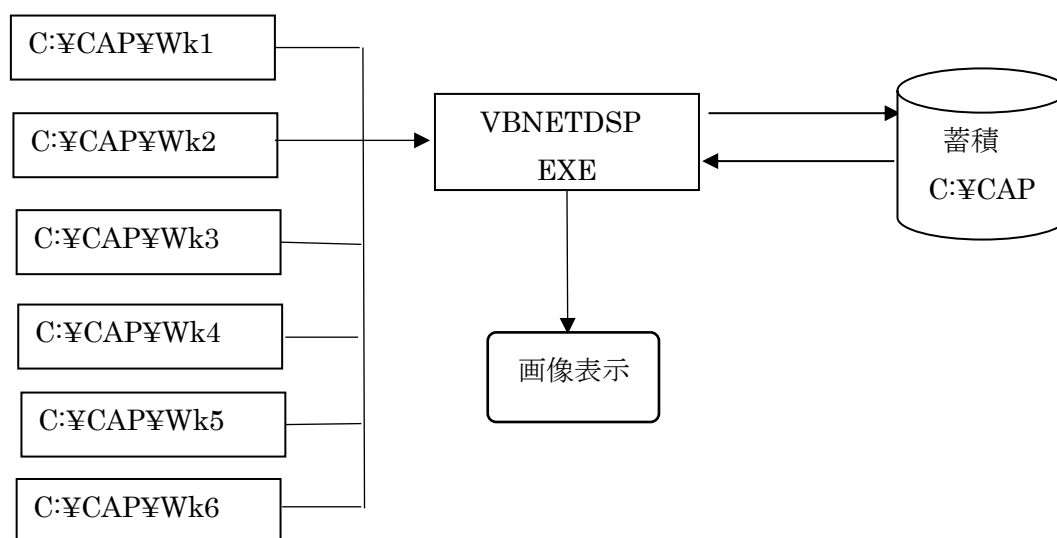
1-2-2 VBNETCAP : 映像取り込み



<注意事項>

映像取り込みと映像表示が同一マシンでは無いときは、
ディレクトリの C:¥CAP¥ は映像表示側の PC のディレクトリを指定してください。

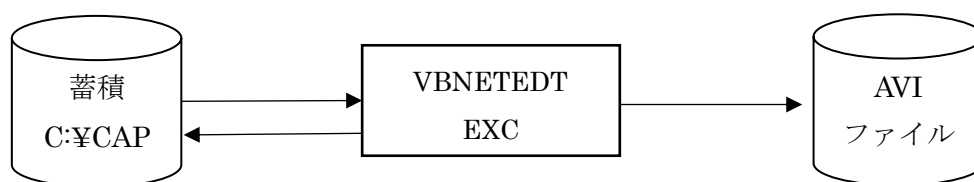
1-2-3 VBNETDSP : 6 台分の USB カメラの映像の表示



<注意事項>

- ① 映像取り込みと映像表示が同一マシンでは無いときは、
ディレクトリの C:¥CAP¥ は映像表示側の PC のディレクトリを指定してください。
- ② 蓄積ファイル名は CAPJPGLIBn.cap の名称で保存されます。
n: カメラ番号 (0 ~ 3)
- ③ 蓄積は 1 時間毎に CAPSAVn_yyyymmdd_hhmm.cap の名称で保存されます。
n: カメラ番号 (0 ~ 3)

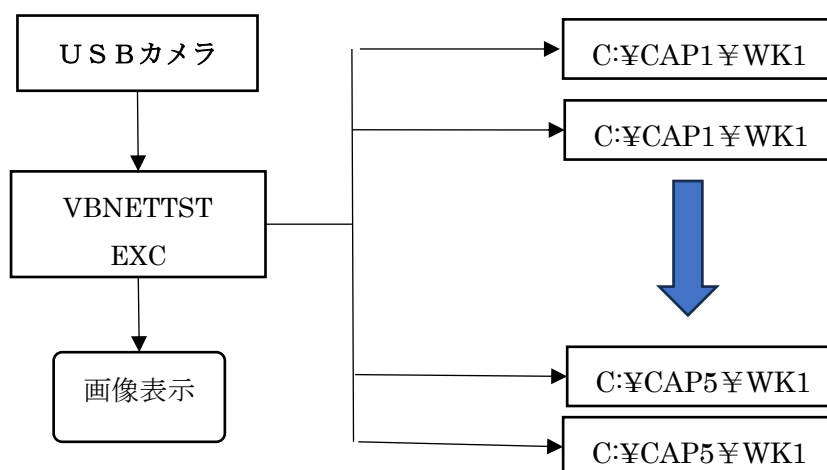
1-2-4 VBNETEDT : 蓄積した映像ファイルの編集換処理



<処理内容>

- ① 時間毎のファイルを結合して AVI ファイルを作成
- ② 不要なファイルの削除
- ③ 画像の時間を設定
- ④ 画像の加工

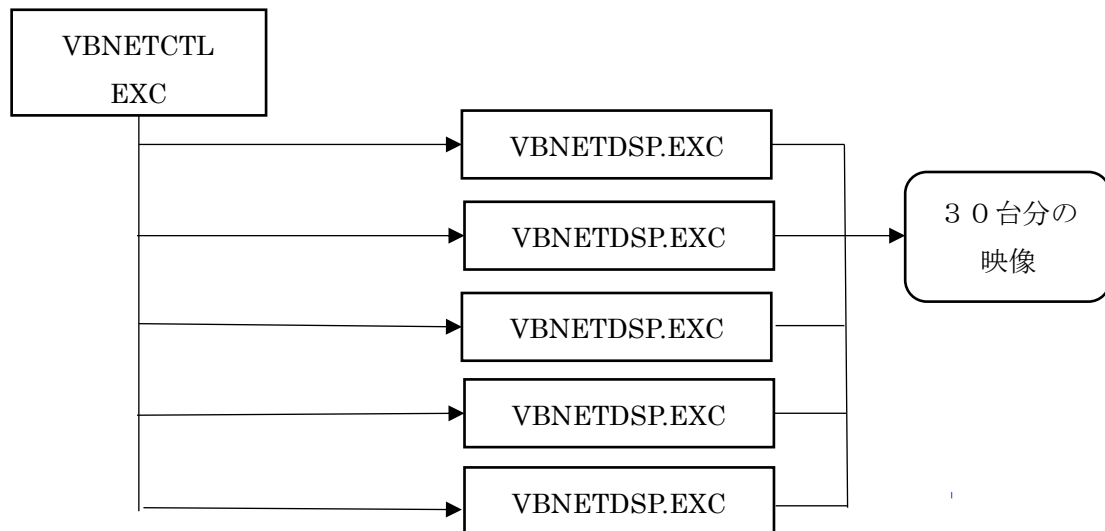
1-2-5 VBNETTST : 30台分のカメラ映像書き込み処理



<処理内容>

- ① USBカメラの映像を30台分のデレクトリの書き込みする

1-2-6 VBNETCTL : 30台分のカメラ映像表示の起動管理処理

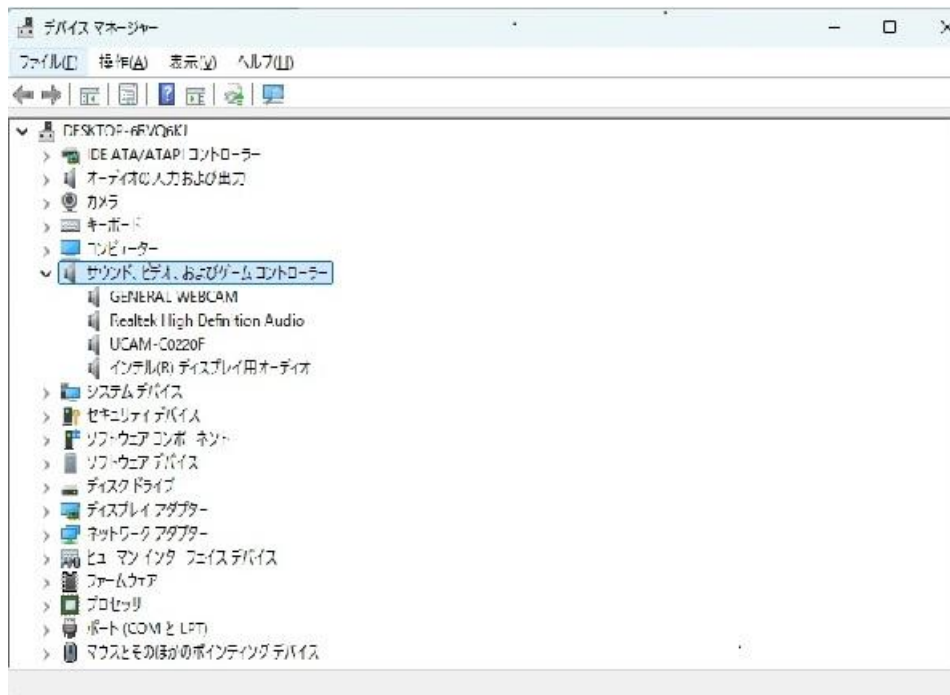


<処理内容>

- ① VBNETDSP を最大 5 機分起動します
- ② 各機器分毎の書き込み件数を表示

2 USB カメラシステム設定方法

2-1 USB カメラの接続状態を確認



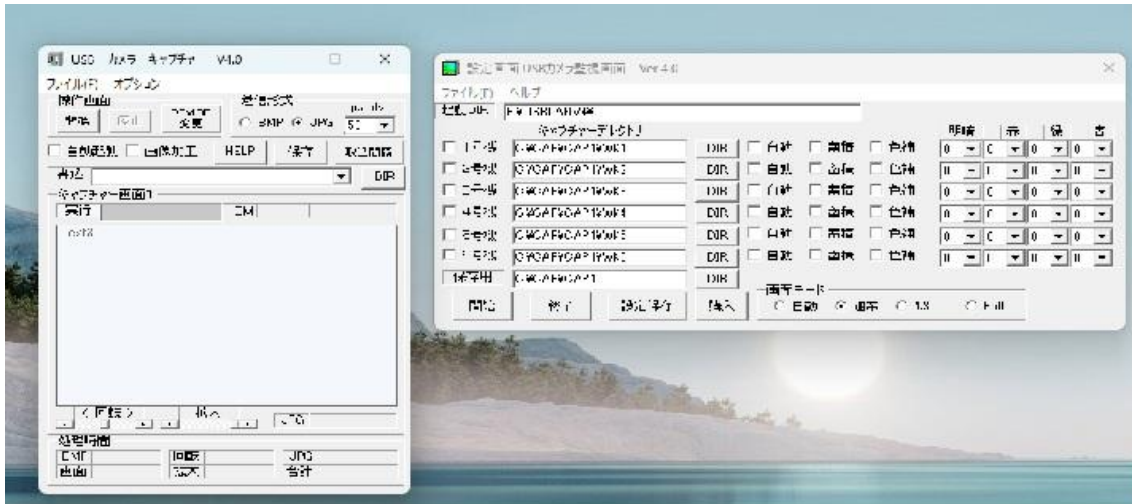
2-2 USB カメラ 1 台のみ表示を行う場合

- ① 映像取り込みモジュールの VBNETCAP.EXE を起動



2-3 USB カメラ 1 台で表示と録画を行う場合

- ① 映像取り込みモジュールの VBNETCAP.EXE を起動
- ② 6 台分の映像取り込みモジュール VBNETDSP.EXE を起動



<注意事項>

- ① USB カメラと蓄積ドライブが同一機器の場合は VBNETCAP.EXE と VBNETDSP.EXE で同じディレクトリを設定する
- ② USB カメラと蓄積ドライブが別機器の場合は VBNETDSP.EXE を起動した機器の共有ディレクトリを VBNETCAP.EXE で設定する (LAN 接続)

2-4 USBカメラ複数台で表示と録画を行う場合

- ① USBカメラ分の映像取り込みモジュール VBNETCAP.EXE を起動
- ② 6台分の映像取り込みモジュール VBNETDSP.EXE を起動



<注意事項>

- ① VBNETCAP.EXE を複数起動する場合は別々の起動デレクトリから起動する事
- ② USBカメラ分のみ起動可能です

2-5 USBカメラ30台で表示と録画を行う場合

- ① 30台分のカメラ映像書き込み処理 VBNETTST.EXE を起動
- ② 30台分のカメラ映像表示の起動管理処理 VBNETCTL.EXE を起動

